



多摩辺

学 校 だ よ り

昭島市立多摩辺中学校

校長 堀田 典子

令和 7 年 5 月 7 日



「磨こう言葉の力」

校長 堀田 典子

多摩辺中学校には、「磨こう言葉の力」というスローガンがあります。もともとは、教員の体罰防止スローガンとして考えられたものですが、生徒の皆さんにも「言葉」の大切さについて、考えてもらいたいと思い、掲げ続けています。「言葉」は、人を励ましたり、慰めたり、時には傷つけたりもします。歴史的にみても、偉人の言葉やスピーチは社会を動かす、人々に希望や勇気を与えています。このように、「言葉」には人の心を動かす力があるのです。

言葉は、私達の思いや考えを相手に伝え、互いを理解し合うための大切な道具です。嬉しい気持ち、悲しい気持ち、頑張りたいという決意、誰かに伝えたい大切なこと、それらは全て言葉を通して相手に届きます。さらに、言葉はコミュニケーションを図る場面においても、大切な役割を果たします。思いやりのある温かい言葉は人を励まし、笑顔を生み、繋がりを深めます。日々の学校生活の中でも、互いを尊重し合い、思いやりのある言葉のやり取りが自然と広がるよう、みんなで意識していきましょう。

特に、今月下旬には運動会が控えています。クラスで団結し、目標に向かって全力を尽くす大切な行事です。そのような時こそ、「言葉の力」を発揮する絶好の機会です。「頑張れ!」「大丈夫、一緒にやろう!」といった言葉が、声を掛けてもらった人の頑張る気持ちを盛り上げ、より一層チームの力を強くします。また、競技中のミスや悔しい場面でも、「次があるよ。」「よく頑張ったね!」などの温かい言葉が、互いの絆を深め、支え合う心を育みます。

もう一つ、勝負にこだわることは、スポーツの醍醐味の一つですが、相手への敬意を払うことを忘れてはいけません。相手がいるからこそ勝負が成り立ち、競い合うことで互いに成長できるのです。相手の努力や健闘を称えることは、人間性を高め、学校全体の雰囲気にもよい影響を与えます。行事を通じて、仲間と支え合いながら、「言葉の力」を実感できる機会にしていきたいと思います。一人一人が相手の気持ちを想像しながら、丁寧に言葉を交わすことで、運動会がさらに楽しく、素晴らしいものになることを期待しています。みんなで最高の運動会を作り上げましょう!

〈5月朝礼講話より一部抜粋〉